

開園 26 周年記念誌

20年のあゆみ

1992年(平成4年)



財団法人

沖縄こどもの国

OKINAWA ZOO

南国の愛鳥オウムのこどもを
沖の字でデザインしたマーク
で、明るく楽しい夢を与える
ユニークな象徴



デザイン 宇津木松二

沖縄こどもの国の歌

♩ = 1 0 4

元 気 よ く

作詞 南 益子
補作 西條 直樹
作曲 渡久地政信



はくもわたしも おきなわの あしたをつくるこ げんきなこ



みんなえがおで ほがらかに あつまるひろばだ きみもこ い



ゆ め の お き な わ こ だ も の く に ゆ め の く に

愛の国 こどもの国 ………	愛のおきなわ こどもこい ………	小鳥もなな なななな ………	みんなはな なななな ………	明日をよん よんよん ………	三、 ぼくもわた わたしも ………	光る国 こどもの国 ………	光るおきな おきなわ ………	てんまどと とどきさ ………	みんなうた うたうた ………	明日へのび びる子 ………	二、 ぼくもわた わたしも ………	夢の国 こどもの国 ………	夢のおきな おきなわ ………	あつまる広 広場だ ………	みんなえが えがおで ………	明日をつく つくる子 ………	一、 ぼくもわた わたしも ………
---------------------	------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------------

20年のあゆみ

1992年(平成4年)



ごあいさつ

(財) 沖縄こどもの国
理事長 新川 秀 清

(財) 沖縄こどもの国が開園20周年を迎え、記念誌を発刊するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

沖縄市の子どもたちをはじめ、多くの県民の方々に愛され親しまれている「沖縄こどもの国」は、復帰を目前にした1972年4月19日に財団法人に移行してから、早くも20年の歳月を数えるようになりました。この間12万平方メートルの園内には、沖縄県をはじめ沖縄協会、日本自転車振興会、日本船舶振興会、日本宝くじ協会等の多大なご尽力により、動物園、水族館、爬虫類園、郷土館、遊園施設等が年次的に建設され、また修景緑化事業の継続により、緑豊かな調和のとれた教育環境を作り、今日に見る本県随一の総合的レクリエーション施設として県民の方々に親しまれ、子どもたちに大きな夢を与えていることは、大変喜ばしいことであり、これまでの関係者のご功績に対し厚くお礼を申し上げます。

沖縄の子どもたちの健やかな成長を願い、南方同胞援護会（現沖縄協会）が1970年の「子どもの日」にこどもの国をオープンして以来、入園者数も年間37万人余を数え、開園当初から現在までに延べ600万人に達しております。

このように、今日において「沖縄こどもの国」は単に青少年の自然学習施設としてだけでなく、広く県民の余暇娯楽施設として利用されるとともに、本県の観光資源の一つとして年々発展しておりますことは、ご承知のとおりであり、こどもの国の果たす社会的役割も大変重要になってきております。

今日、高齢化社会が進展する状況の中で、児童を取り巻く環境は厳しくなるとともに、生活水準の向上や余暇時間の増加などから、ますます「沖縄こどもの国」の重要性は高まるものとおもわれます。

私どもはこれまでこどもの国の管理運営に最善を尽くしてきておりますが、ここに開園20周年を迎えるにあたり、役員及び職員が自覚を新たにして「沖縄こどもの国」を一層魅力ある施設に発展させるよう努力してまいりますので、皆様方のお一層のご協力ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



20周年記念誌発刊にあたって

(財) 沖縄こどもの国
園 長 桑 江 良 吉

財団法人沖縄こどもの国は、昭和47年4月19日に開園して20周年を迎えました。

これも偏に関係各位のご支援と諸先輩のご努力のたまものと深く感謝申し上げます。

沖縄県の本土復帰記念事業として沖縄協会の前身である南方同胞援護会が、地元関係者の強い要請を受けて、この事業の推進にご尽力され日本政府を始め沖縄県、沖縄市の資金援助そして日本自転車振興会、日本宝くじ協会、日本船舶振興会、各種団体等の寄付金でもってできた施設であります。

園内には動物園、水族館、爬虫類園、手づくり郷土館、ふるさと園等の施設があり、展示動物の数も326種 3830点となっており県内随一の動物園として県内をはじめ県外からも多くの方々がご来園いただき、児童生徒の情操教育や県民の憩いの場としての役割を果たしております。

開園以来7回にわたり離島へき地への移動動物園を開催し、その度お年寄りや島の人々から感謝の言葉を頂きました。また、実施に当たっての多くの方々の善意とご協力に対し厚くお礼を申し上げます。

夏休みは子ども達にとって体験学習の良き機会です。当園でも自然の中で動物と触れる機会の少ないこども達のためにサマースクールや、動物画コンクール、動物愛護フェスティバル等の実施をして動物との触れあいや、体験学習を通じて自然科学教育の場を提供しております。

個性豊かな人格形成を目ざして今秋9月12日からスタートしました学校週5日制に向け当園も生涯学習施設の一翼として、動物園、水族館で何ができるか、何をなすべきか検討しなければならないと考えております。

近年地球規模の開発が進み多くの野生動物が危機に瀕している状況にあり種の保存を図ることも動物園、水族館に課された重要な役割であります。

このようなことを踏まえて全職員が一丸となって沖縄こどもの国の発展に努力を重ねてまいりますので今後とも暖かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

「沖縄こどもの国」の歌とシンボルマーク

あいさつ

20周年記念誌発刊にあたって

口 絵	2
1 開園までの経過	10
(1)建設の主旨	10
(2)財団法人の設立	11
2 園の仲間たち	12
3 施設現況	17
(1)土 地	17
(2)施 設	17
4 繁殖賞に輝く動物たち	19
5 教育普及活動	20
(1)ふれあい広場	20
(2)サマースクール	20
(3)移動動物園	23
(4)各種展示会	25
(5)研修会	27
6 各種イベント	28
(1)「こどもの国まつり」コイのぼりカーニバル	28
(2)動物愛護フェスティバル	30
(3)動物慰霊祭	31
(4)チャーン鶏鳴大会	31
(5)おきなわ雪まつり	32
(6)ジンジンフェスティバル	33
7 野生動物の保護活動	34
(1)傷病鳥獣保護状況	34
(2)イリオモテヤマネコの保護と飼育	35
(3)ヤンバルクイナの緊急保護	36
(4)シカの移動防止に関する実験	36
8 20年のあゆみ	37
9 トピックス20年	48
10 資 料	58
(1)年度別収入明細	58
(2)年度別支出明細	59
(3)開園時間及び入園料等	60
(4)遊戯施設利用料	61
(5)年度別入園者数（有料無料）	62
(6)入園者数の推移	63
(7)年度別動物飼料購入費	64
(8)歴代理事長、園長	65
(9)組織及び業務分掌	65

園内ごあんない



●入園時間

平日	冬	夏
9:00~	4:00	4:30
土・日・祭	冬	夏
9:00~	6:30	7:00

●休園日 毎週火曜日

但し火曜日が祝祭日の時は、翌日に繰り下げます。

●入園料

大	人	700円
中学 高校生		300円
小学生・幼児		200円

◎団体料金(20人以上)

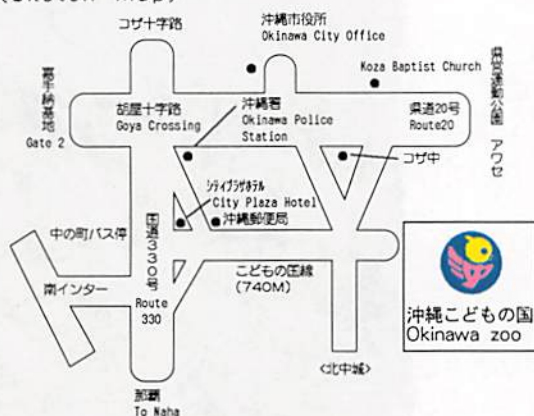
大	人	600円
中学 高校生		250円
小学生・幼児		150円



●バス利用

那覇 石川・屋慶名・嘉手納線利用
系統番号、21～27、63.77.90
中の町バス停下車で 徒歩・・・10分

●見取図 (Sketch map)



●駐車場

メイン駐車場 200台 } 乗用車
東ゲート駐車場 230台 }

凡 例

- W・C ————— 便所
= ————— 園路
☎ ————— 電話
①～⑤ ————— 案内番号

●アシカショー

平日
午前11時、午後2時
日曜、祭日
午前11時、午後2時
〃 4時

●のりもの利用料

ファミリートレイン	200円	コーヒーカップ	300円
スーパートレイン	500円	ミニレーサー	100円
ワンダーホイル	500円	ミラーハウス	300円
ローラーコースター	500円	ファイヤースィンガー	400円
メリーゴーランド	400円	スカイサイクル	300円
ペガサス	300円		
エンタープライズ	400円	その他10種	



親子水いら



ずん??

みんなが集まるふれあい広場

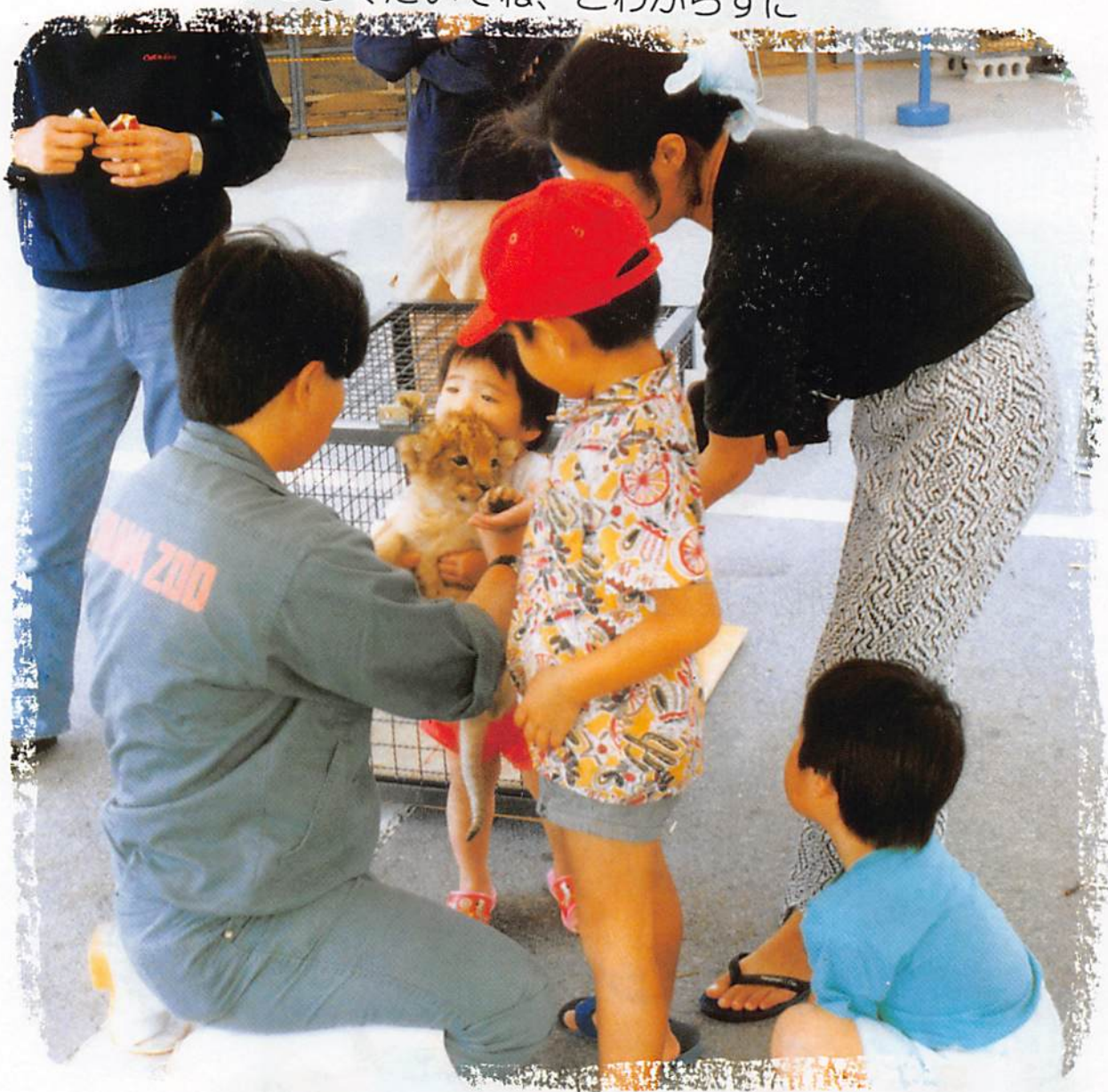


動物のからだどんな感じかな？

まだまだかなあ～待遠しいねお父さん



やさしくだいてね、こわがらずに



第6回移動動物園 in 久米島（平成2年11月3日～6日）

「つぼ」作りに挑む親子



動物を題材に「うき彫り」の学習



晴れ舞台、
どの子もすまし顔



むし歯とばすな！うめぼしとばせ！



1 開園までの経過

(1) 建設の主旨

太平洋戦争の終結後の沖縄県は長年にわたって米国を主権者とする信託統治下におかれてきましたが、昭和43年、沖縄の祖国復帰の機運が全国的に盛りあがりを見せた頃、沖縄にある米軍基地は国内基地のおよそ50%以上が沖縄に集結し、基地の島の様相を呈し、それにより基地依存型の産業が著しく、沖縄経済の基幹ともなっていました。

ところがそのことが青少年の健全育成をはばむ要因ともなり、好ましくない社会環境の浄化をはかる一方で未来を拓くこどもたちの夢をはぐくむ施設として、沖縄の本土復帰を記念した事業として、その建設機運の盛り上がりがありました。

沖縄こどもの国建設には(財)沖縄協会の前身である南方同胞援護会がこうした地元関係者の強い要請を受けて、この事業の推進に尽力されました。日本政府はもとより、琉球政府(沖縄県)の補助金、沖縄市(旧コザ市)の資金投入と日本自転車振興会、日本宝くじ協会、日本船舶振興会、学校関係、その他企業団体等の寄付浄財でもって、動物園、水族館施設、遊びの広場など年毎に建設整備され、子どもたちの健全な遊び場として、あるいは情操を豊かにするところとして、多くの人々の善意の結集によってできた施設であります。

特に沖縄において動物園がなく、この施設の中に動物たちを導入して、子どもたちへの動物に対する楽しさ、喜びを知らしめることは、豊かな情操をつちかうと共に自然保護思想の心を育てる手だてともなることを願い、上野動物園をはじめ、井ノ頭自然公園、犬山モンキーセンターなどの動物寄贈と動物管理の指導にも快く引受けられ、沖縄こどもの国が単にこども向きの娯楽施設にとどまらず、福利厚生のための施設はもとより、総合的なレクリエーション施設として県民に親しまれ、子どもたちに大きな夢を与えることができました。

(2) 財団法人の設立

沖縄こどもの国は、(財)沖縄協会の前身である南方同胞援護会(南援)とコザ市(現沖縄市)の業務委託によって、沖縄の祖国復帰記念事業として建設が進められてきました。

昭和47年5月15日に、沖縄県民の悲願である祖国復帰の大目標達成によって、南援は解散されることになりました。

この新しい段階に臨み、昭和47年4月19日沖縄こどもの国も「財団法人沖縄こどもの国」を設立し、南援より資産の譲渡を受け独自の経営をもって、法人の経営に当ることになりました。



コモンリスザル



サオトメトケイソウ

2 園の仲間たち

当園には、哺乳類65種 346点、鳥類62種 517点

爬虫類95種 662点、魚類102種 2245点

両生類2種 60点、合計326種 3830点があります。



▲オランウータン



▲マンドリル



▲チンパンジー



▲ワオキツネザル



▲ライオン



▲トラ



▲チュウゴクヒョウ



▲カラカル



▲シンリンオオカミ



▲キツネ



▲タヌキ



▲アライグマ



▲カバ

▼マルミミゾウ



▲シロサイ

▼アミメキリン





▲フラミンゴ



▲カンムリヅル



▲アメリカオシ



▲バン



▲イリエワニ



▲ミズオオカゲ



▲ムツアシガメ



▲アミメニシキヘビ



▲ヒラルク

タナゴモドキ▶



▼オオグチュゴイ



▲ホシマダラハゼ

▶アシカショー



3 施設現況

(1) 土地(管理面積)	125,522.0㎡
イ 県有地	48,922.5㎡
ロ 市有地	61,099.5㎡
ハ 私有地	15,500.0㎡

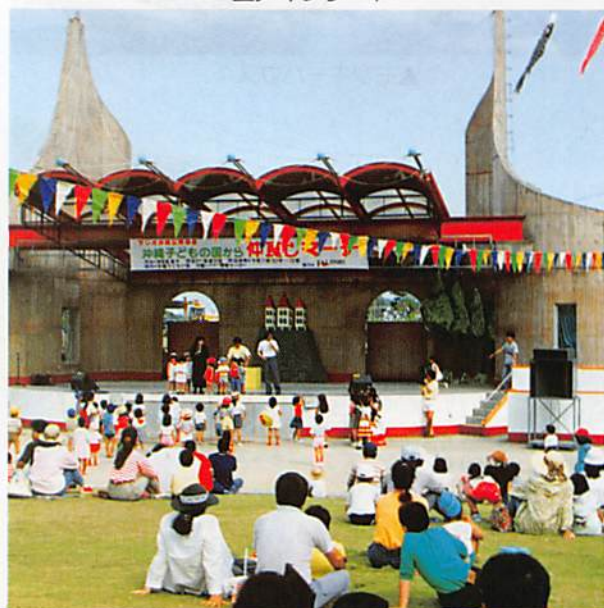
(2) 施設



▲メインゲート



▲手づくり郷土館



▲野外ステージ



▲ふるさと園



▲水族館



▲モンキーハウス



▲爬虫類園



▲メリーゴーランド



▲サル山



▲ボート



▲エキサイティングゾーン

4 繁殖賞に輝く動物たち

(社)日本動物園水族館協会では加入園館の動物園や水族館で初めて繁殖(自然、人工、人工受精)に成功し、その後6ヶ月以上成育した動物について、その飼育技術をたたえ繁殖賞を贈って表彰しています。



受賞状況

年度	動物名	繁殖区分	数	繁殖年月日
S56	オリオオコウモリ	自然	1	S54.5/4
56	ビクトリアカンムリバト	〃	5	54.5/15, 10/24 55.5/21, 56.1/17
58	カピバラ	〃	2	57.7/24
H 3	カステックスタンスイエイ	〃	4	H3.7/29
4	オオリュウキュウガモ	〃	6	4.4/16
4	シロガオリュウキュウガモ	〃	4	4.4/28



▲オリオオコウモリ



▲カピバラ



▲ビクトリアカンムリバト

5 教育普及活動

(1) ふれあい広場

保育園、幼稚園の園児や目の不自由な児童生徒を対象に、ウサギ、モルモット、ヒヨコ、ヤギ、ヒツジ、ポニーなど身近な動物を「ふれあいコーナー」に出して、ふれ方、持ち方、時にはこわがる子を一緒に指導して、動物たちのぬくもりを通して動物に対する正しい接し方や動物を愛するやさしい心情を育むために開催しています。



(2) サマースクールの開校

サマースクールを通して、動物愛護と自然保護への関心を高めるために、夏休みに小学校5・6年生を対象に、動物園の中で動物たちを直に観察したり、時にはふれたり、清掃したり、また自分で調理したエサをあげる飼育実習と動物を題材に絵を書いたり、うき彫りで形づくりの体験学習は児童にとって、これまで経験したことのないすばらしい思い出になることでしょう。

サマースクールの実施に指導者としてご協力いただいた学校の先生方

昭和47年～平成3年

(図 工)

玉那覇 清 徳	伊 計 光 義	仲 村 兼 明	仲 嶺 真 範
森 田 政 順	比 嘉 行 男	安 里 栄 二 (敬)	仲 村 愛 子
松 田 美代子	山 内 盛 博	大 山 美江子	喜屋武 信 子
宇 良 永 子	宮 城 盛 雄	仲 嶺 明 子	上 間 賢 一
大 城 悦 子	仲 村 明 子		





(3) 移動動物園

沖縄県は60余の島嶼群からなる離島県である。地理的に遠隔地の子どもたちやお年寄りの方々は経済的、体力的に制約され動物園を訪れる機会が少なく、その恩恵に浴することができません。

離島へき地への移動動物園の企画に臨み、特に野生の動物を可能なかぎり引き連れて、本島北部のへき地を皮切りに、伊平屋島、伊是名島、宮古島、石垣島、西表島、久米島、与那国島、の7離島で実施し、その度お年寄りや島の人々から激励と感謝の言葉を頂きました。

実施に当っては、各回ごとにその資金造成のために多くの方々が参画し、また篤志の寄付や開催他の全面的な善意とご協力によって成功いたしました。

実 施 状 況

	実施年月日	開催会場	受入機関
1	1982. 3/20～3/21	東村	東村教育委員会
2	1984. 3/17～3/20	伊是名村、伊平屋村	伊是名村、伊平屋村教育委員会
3	1985. 3/22～3/25	宮古平良市	宮古青年会議所
4	1985. 9/2	那覇市（与儀公園）	沖縄県環境保健部
5	1988. 11/2～11/3	石垣市	石垣市教育委員会
	11/5～11/6	竹富町	竹富町教育委員会
6	1990. 11/4～11/5	具志川村	移動動物園 in 久米島実行委員会
7	1991. 11/20～11/25	与那国町	与那国町教育委員会





(4) 各種展示会

郷土館の多目的ホールにおいて、これまで児童生徒に比重をおいた展示会を開催してきました。

展示会は、国際的、国内的行事と呼応しつつ、また独自のプランに基づいて沖縄の天然記念物展（はく製）、沖縄の野鳥展、国際児童画展、児童画交流展、宇宙展、動物愛護図画作文展、講演会など各分野に及び作品を通しての児童生徒県民市民の関心を高め交流の和を広げたことは当園が社会教育機関としての役割を強調し認識を新たにします。





(5) 研修会

当園では、園内飼育技術者研修会、沖縄県博物館協会の研修会、(社)日本動物園水族館協会主催の飼育技術者研修会等において、日ごろの研究活動の成果を発表するために、発表者を中心に発表内容の検討学習会を持ち、その過程で信頼関係や知識の交流など飼育技術の向上に努めています。

研 修 会 活 動 状 況

年	月 日	種 類	発 表 者	発 表 演 題
79	11月7日	日動水第27回全国大会	比 嘉 源 和	イリオモテヤマネコの飼育経過
86	8月22日	公民館講座	比 嘉 義 友	水生動物の飼育法
87	8月10.12日	"	"	"
88	8月8.10日	"	"	"
"	10月21日	県民講座	大 谷 勉	ビルマニシキヘビの増殖と利用
90	7月6日	父母学級	比 嘉 源 和	動物の子育て
"	7月13日	母親学級	"	「小動物とのふれあい」やしろの原点みつけ
"	7月30日	公民館講座	"	動物園教室
91	10月23日	沖博協研修会	"	イリオモテヤマネコの飼育観察から
"	"	"	比 嘉 義 友	ホタル飼育の現状
"	"	"	大 谷 勉	ビルマニシキヘビの現状と増殖の可能性
92	5月31日	全国ボランティア大会	与 儀 実 信	地域に根ざしたボランティア活動
"	7月9日	日動水爬虫類担当者会議	大 谷 勉	沖縄で保護された外産爬虫類
"	8月15日	子どもシンポジウム	与 儀 実 信	昆虫と人間のかかわり
"	8月23日	爬虫類移動動物園	大 谷 勉	伊平屋島の蛇類
"	9月11日	蛇類に関する国際会議	"	沖縄で保護された外産爬虫類
"	9月19日	県博文化講座	比 嘉 源 和	イリオモテヤマネコの話
"	10月20日	商工会議所研修会	比 嘉 義 友	ホタルの飼育法と視察
"	10月22日	九州地区樹木医会議	与 儀 実 信	オオノキの異常枯死の一因となるキノコガクマムシについて
"	11月11日	日動水第28回全国大会	比 嘉 源 和	マルミソウ(♂)の間接飼育について
"	11月14日	郷土博物館講座	大 谷 勉	ビルマニシキヘビの現状と増殖の可能性



6 各種イベント

(1) こどもの国まつり、鯉のぼりカーニバル

「子どもたちは社会の一員として重んじられ、尊ばれなければならない。」5月1日から5日まで児童福祉週間の社会行事と呼応して「沖縄こどもの国まつり、鯉のぼりカーニバル」を開催します。

うりずんの季節に豪快に泳ぐ鯉のぼりは、21世紀の主役「子どもたち」のはちきれんばかりのエネルギーのシンボルです。

その子どもたちの情操豊かな心身の育成を願い、まつり期間中の3、4、5の3日間は小学生以下無料入園とします。





(2) 動物愛護フェスティバル

動物愛護週間（9月20日～26日）中に、当園において「動物を愛する心、生命を尊重する情操豊かな心身の育成」を願い開催します。

開催内容

- ・動物相談コーナー
- ・里親さがし
- ・グルーミングコーナー
- ・琉球犬の展示
- ・犬の調教実演
- ・ふれあい動物園

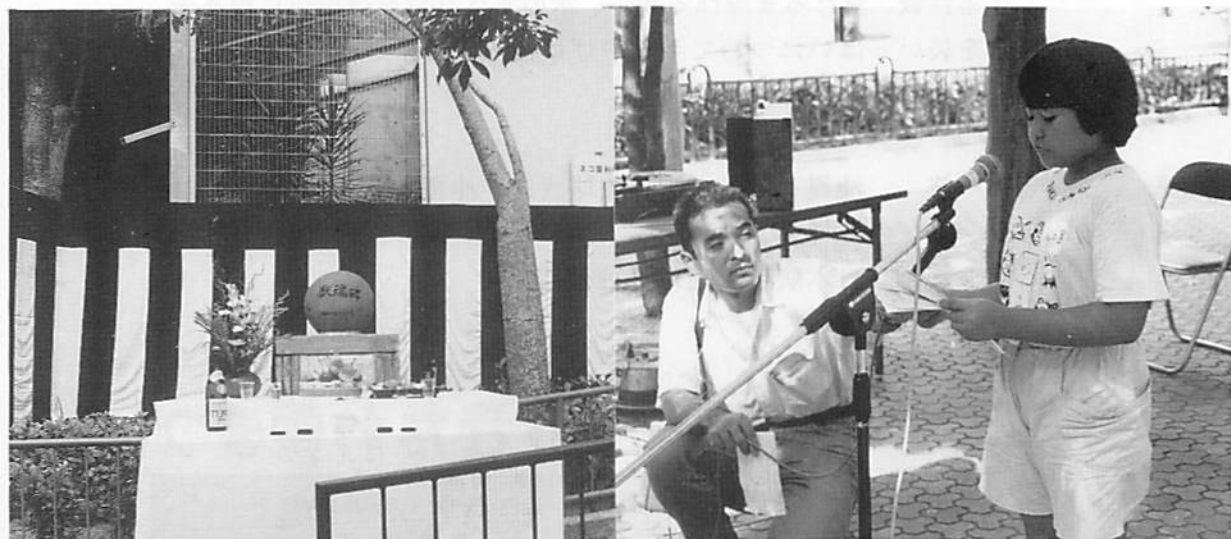
主 催 沖縄県 沖縄県獣医師会

後 援 （財）沖縄こどもの国



(3) 動物慰霊祭

動物愛護週間(9月20日～26日)にちなんで、展示動物として入園した動物や動物園で誕生した動物で、事故や老衰で一生を終えた仲間たちの魂を招いて感謝と御霊の供養をします。



4) チャーン鶏鳴大会

沖縄地鶏チャーンは昔から声を楽しむため飼われ、戦時中も愛好家によって大切に保護されて現在に受け継がれてきました。

チャーン愛好会では美声を競い合う「チャーン鶏鳴大会」を毎年開催し、その良さを県民にアピールすると共に保護指定への輪を広げ、平成3年1月16日に県指定天然記念物の指定を受けました。

当園では昭和59年の35回大会以来、毎年5月の催事の一環として大会を共催しています。



(5) おきなわ雪まつり

亜熱帯の島、沖縄では冬でも10℃を下るのは稀である。

大人や子どもたちの中にも雪に触れた体験は少なく、北海道から送られた雪に接し、その感触は一生の思い出になることでしょう。

雪合戦、雪だるまを作る親子、氷のすべり台を得意気に滑る子、雪を袋いっぱいにつめて手みやげに持ち帰る子どもたちなど、楽しい1日でした。

共 催	沖縄こどもの国、琉球放送、沖縄イベント開発研究所
後 援	沖縄県 沖縄市
協 賛	日本航空、琉球通運航空



(6) ジンジンフェスティバル

ホタルは子どもたちにとって夏の夜の遊び相手であった。私達の住む生活環境は悪化の一途を辿り、闇夜に飛び交っていたホタルの姿は遠い追憶の郷愁になってしまいました。

昭和63年6月18日、沖縄市主催の「水、21世紀へのメッセージ自然と人間の調和を考える」シンポジウムを機に「ホタル飛び交う街づくり」として、ホタルを増殖し、自然をとりもどすための増殖施設建設資金造成の「ジンジン（ホタル）フェスティバル」を開催しました。

共 催 （財）沖縄こどもの国 沖縄市
ジンジンフェスティバル実行委員会

後 援 沖縄タイムス、琉球新報、ラジオ沖縄、琉球放送
NHK 沖縄放送局、FM 沖縄



7 野生動物の保護活動

(1) 傷病鳥獣保護状況

絶滅の危機に瀕する野生動物を飼育下で繁殖させる種の保存活動は、動物園の重要な役割です。

当園でも希少動物を研究飼育し、繁殖に努めています。

研究飼育の他に、負傷したり、渡りの途中で力尽きたり、病気や親からはぐれて弱った動物が数多く持ち込まれます。手厚い治療と養生の結果、約50%が助かり、その中の15~16%が自然復帰が出来るのが現状です。

これらの業務を野生動物の保護活動の一環として、沖縄県と「傷病鳥獣救護事業」として受託業務で進めています。

保 護 状 況 (昭和60年~平成3年)

年 度	頭 羽 数	放 鳥	放鳥不可能ため飼育	死 亡
昭 和 60	71	31	9	31
61	56	25	11	20
62	63	17	14	32
63	102	33	13	56
平 成 元	92	17	5	70
2	97	26	16	55
3	166	32	32	102

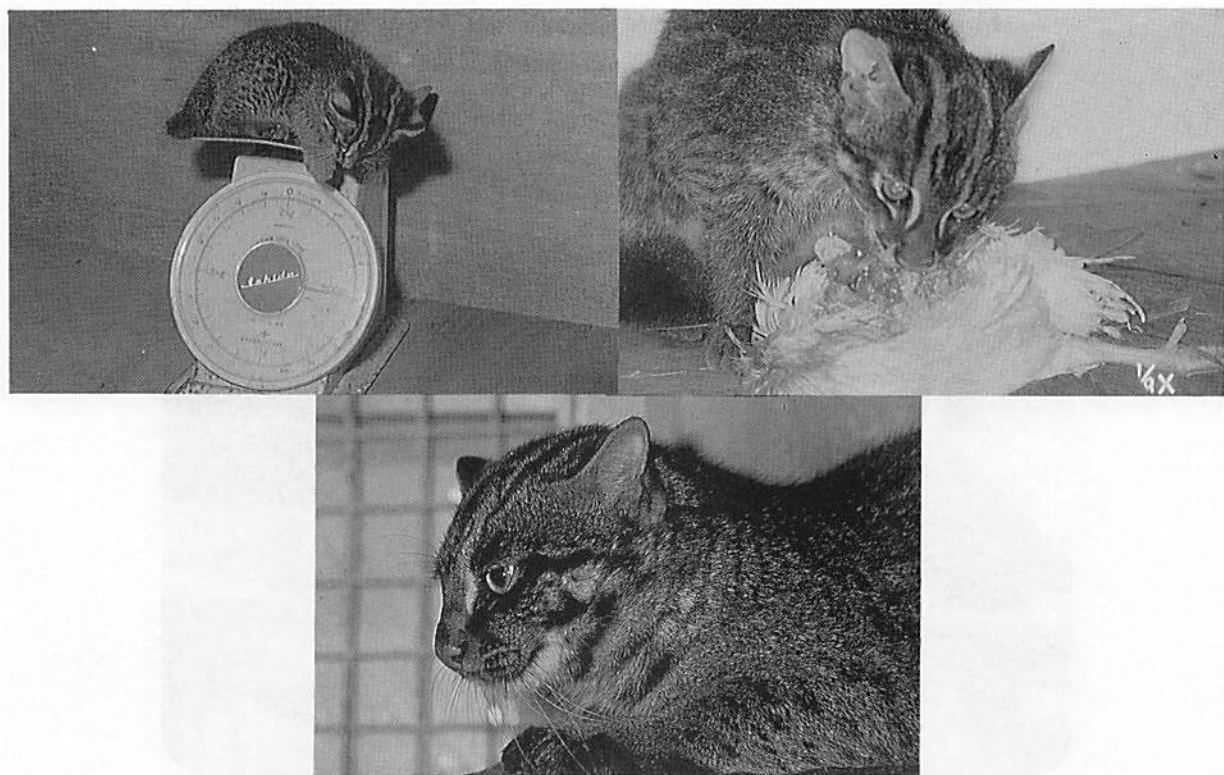


(2) イリオモテヤマネコの保護と飼育

1979年（昭和54年）6月14日午後6時頃、沖縄県地方は梅雨の最中に竹富町美原（西表島）の原野の中で折りからの雨に打たれて衰弱した国指定特別天然記念物のイリオモテヤマネコの子ネコが発見保護され、国、県の関係機関からの保護依頼と地元や関係者の善意と協力によって無事（財）沖縄こどもの国に到着し、その後飼育係の適切な看病と飼育により順調に成育しました。

当園で研究飼育を始めてから13年余が経過し、その間の県内外の関心と注目はその保護と保全について考える機会を与え、また自然界で観察されなかった生態についても究明され、生理学的にも貴重なデータを残して、平成4年10月9日午後5時49分、老衰のため13年4ヵ月の生命を閉じました。

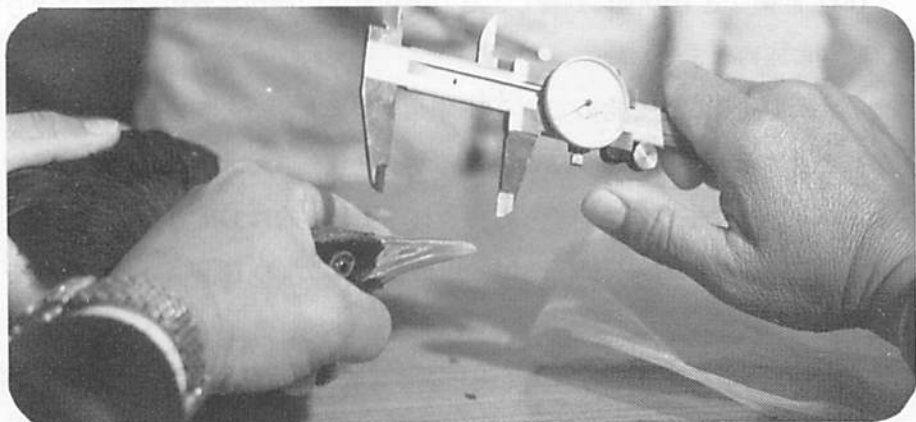
イリオモテヤマネコの（ケイ太）は幼獣期（保護時5週齢）から成獣期（13齢）まで当園で飼育され、年齢、飼育経過等の明瞭な唯一の個体であるので骨格及び剥製標本を作り、学術資料として展示をして教育普及活動に役立てます。



(3) ヤンバルクイナの緊急保護

1982年（昭和57年）1月23日に国指定天然記念物ヤンバルクイナ（昭和57年12月18日指定）が生息地である沖縄本島北部の沼地に脚をとられて衰弱しているのが発見され、当園で保護看病することになりました。

保温と養生の手厚い看病により数日後には快復して広い保護室を飛び回れるようになったので、身体測定後に生息地の森林に放鳥しました。



(4) シカの移動防止に関する実験

1972年（昭和47年）5月15日に座間味村慶留間島及び屋嘉島に生息するケラマジカが国指定天然記念物に指定されています。

県道改修による慶留間島と阿嘉島間を結ぶ架橋建設が予定され指定地の慶留間島から指定地外の阿嘉島へシカの移動が予想されその対策を文化庁の天然記念物保護増殖事業の一環として、座間味村が事業主体となり、（財）沖縄こどもの国が業務受託者となりシカの移動防止装置の調査研究及び試作実験を試みながら、そのデータをまとめ「シカの移動防止に関する実験報告」として関係機関に提出しました。



8. 20年のあゆみ



昭和40年頃の沖縄こどもの国用地

1968年(昭和43年)

1月27日

南方同胞援護会(現沖縄協会)より沖縄の祖国復記念事業としてコザ市へ「こどもの国」建設依頼を決定する。

3月28日

南援とコザ市との間に「こどもの国」建設工事業務委託契約を締結し、第一期工事着工。



1969年(昭和44年)

7月25日

(株)前田商事より動物遊具プレイスカルプチャー10点寄贈される。

7月28日

管理事務所、水族館、動物舎等建設完了。

1970年(昭和45年)

1月14日

全国小中学校長会に沖縄こどもの国建設基金の募金要請。

5月5日

沖縄こどもの国開園。

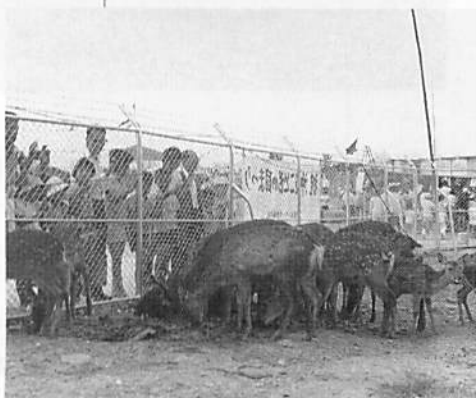


10月25日

全国小中学校児童生徒より「こども博物館」建設基金の寄贈を受ける。

12月4日

ハナジカ20頭入園。「(財)日本モンキーセンターより寄贈される」



1971年(昭和46年)

2月27日

「少年の像」建立。(豊中市より友情のシンボルとして寄贈される)



4月22日

「噴水」の建設。(国際ロータリークラブ359より復帰記念として寄贈される)



12月27日

宮古馬(♀)入園。(北谷町の翁長林寛氏より寄贈される)

1972年(昭和47年)

1月27日

与那国馬(♂)入園。「株」クロコダイル社長、照屋敏子氏より寄贈される」

3月31日

サル山完成、ニホンザル20頭入園。「(財)日本モンキーセンター及び溝口鳥獣店より寄贈される」

4月19日

財団法人・沖縄こどもの国設立。

南援より資産の譲渡を受ける。

5月3日～

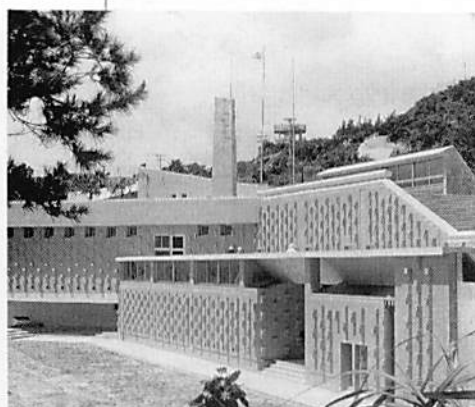
5日

財団法人設立後初の「沖縄こどもの国まつり」開催。



6月15日

こども博物館完成。



8月1日～

5日

第1回サマースクール開校。250人参加。

11月11日

パンダの餌としてサトウキビを上野動物園へ送る。

11月23日

「オルゴール時報装置」の設置。(日本オルゴール協会より復帰記念として寄贈される。)

1973年(昭和48年)

1月1日~2月28日

世界動物博覧会開催。

3月21日

トラ、ライオン入園。(溝口鳥獣店より寄贈される)

6月28日

「ライオンズ広場(プール、ジャブジャブ池施設一式)完成。」
(ライオンズ国際協会302地区より寄贈される)



9月15日

水禽類の池完成。



1974年(昭和49年)

5月11日

子どもたちの人気番組「走れK100」ショー開催。



7月29日

内間正満氏よりセスナ機の寄贈を受ける。こども博物館で展示。

9月6日

池の全水面(20,000㎡)を覆ったホテイアオイの除去作業開始。

10月30日

照屋林孝氏より高倉の寄贈、園内に復元展示。

1975年(昭和50年)

5月3日~

5日

「沖縄こどもの国まつり」開催。
児童福祉週間に因み小学生以下無料。

7月5日

豪雨により広場の地盛りで弁慶号軌道の決壊。



7月12日

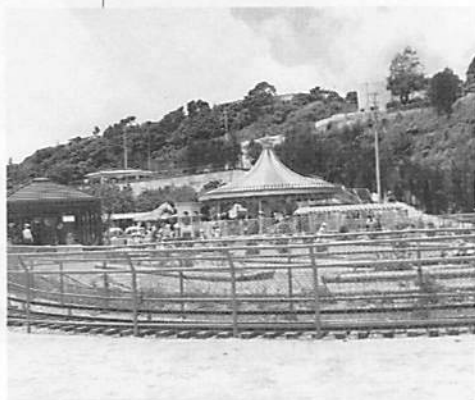
爬虫類園完成。

9月8日

ゾウ、ラクダ、チンパンジー入園。

1976年(昭和51年)

- 3月3日 海洋博終了に伴い建物、展示物、備品等の譲渡を受ける。
- 4月18日 コザライオンズクラブ15周年記念事業としてライオンズ広場に植樹する。
- 8月7日 地這り地の復旧と、のりもの広場の完成。



1977年(昭和52年)

- 4月1日 水族館の完成と開館。(日本自転車振興会補助事業)



- 6月5日 池のホテイアオイ除去作業完了。
- 7月23日 サル舎、小獣舎、アジア園、オーストラリア園、象舎、子ども動物園完成。

1978年(昭和53年)

- 6月24日 フライングケージ完成。(県、市補助事業)



- 12月28日 水と緑の広場完成。(日本船舶振興会補助事業)

1979年(昭和54年)

- 1月6日 新観光名所として選定される。(琉球新報社主催)
- 1月31日 熊舎完成。(県、市補助事業)
- 3月15日 類人猿舎とアシカの池完成。(日本宝くじ協会助成事業)
- 4月7日 浮き橋完成。



5月3日～
5日

国際児童年記念「沖縄こどもの
国まつり」(沖縄県、沖縄市、こ
どもの国共催)

6月16日

国指定特別天然記念物「イリオ
モテヤマネコ」の幼獣の保護及
び飼育開始。



11月29日

園の外柵工事完了。(県、市補助
事業)

1980年(昭和55年)

1月12日～
13日

国際児童画展開催。(日本ユネ
スコ協会協力)

3月30日

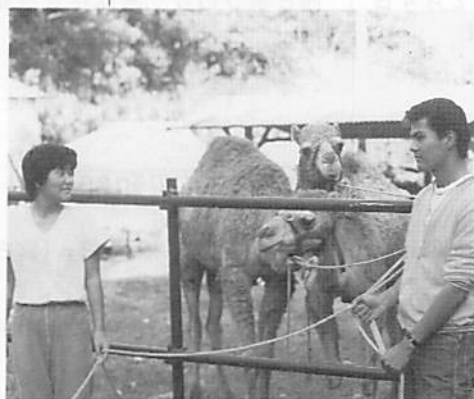
メインゲート完成。(防衛施設
庁補助事業)

6月28日

ゴーカートのりば完成。

10月8日

ヒトコブラクダ(1番) マーラ
(1番) 入園。(コザライオンズ
クラブ、具志川ライオンズクラ
ブより寄贈される)



11月11日

水族館の採集船ロイヤルクィー
ン号の安全祈願と進水式。

1981年(昭和56年)

1月28日

汚水処理施設完成。(防衛施設
庁補助事業)

3月21日

レストハウス完成。(日本宝く
じ協会助成事業)

5月4日

ビクトリアカンムリバト、オリ
イオオコウモリ繁殖賞受賞。
(日動水協より)



12月10日

開園10周年記念式典開催。
こども博物館を「手づくり郷土
館」に改名、展示内容も変更。



12月10日～
1982年
1月10日

剝製標本による「おきなわ
の天然記念物とパンダ展」開
催。

1982年(昭和57年)

1月23日

国指定天然記念物「ヤンバルク
イナ」の緊急保護。

2月24日

移動動物園基金造成「チャリテ
ィーゴルフ大会」開催。

2月27日～
28日

おきなわ雪まつり開催。(北海
道の雪20t空輸)



3月20日～21日
7月30日

第1回移動動物園実施(東村)
沖縄こどもの国友の会設立総会
開催。

1983年(昭和58年)

3月26日

マルミミゾウ(ベベ)入園。

3月30日

博物館相当施設の指定を受ける
時計塔完成。(日本宝くじ協会
助成事業)

4月15日



7月24日

カピバラ繁殖賞受賞。(日動水
協より)

9月12日

コモンマーモセット(1番)入
園。(上野動物園より寄贈され
る)

1984年(昭和59年)

2月18日

池の曝気装置、レイクリフター
稼働。(比謝川をそ生させる会
より寄贈される)

3月17日～
20日

第2回移動動物園実施。(伊是
名、伊平屋両村)



3月26日

サイ舎完成。(県、市補助事業)
シロサイ(♂)入園。(九州自
然動物園より寄贈される)

12月4日

西日本ブロック園館長会議開
催。

1985年(昭和60年)

3月22日
～25日

第3回移動動物園実施。(宮古
平良市)

4月24日

ライオン(♀)脱走のため射
殺。

4月29日

野外ステージ完成。(日本宝くじ協会助成事業)



11月23日

ライオンズ通りにサクラ60本植樹。(コザライオンズクラブ)

1986年(昭和61年)

1月3日～
5日

新春企画「お正月だよ全員集合」開催。

4月5日

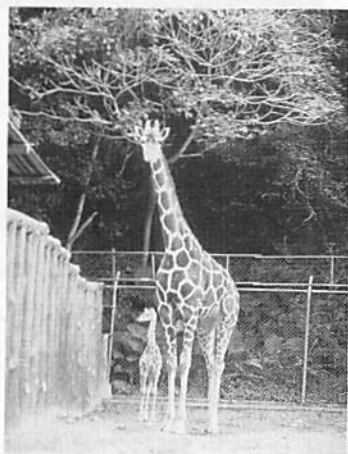
中森明菜ランドまつり開催。

7月5日

オオアリクイ、ミツビナマケモノ入園。

12月24日

キリン(♀)出産。



1987年(昭和62年)

2月1日

キリンの赤ちゃん命名。…「リソリン」

10月24日

第42回国体秋季大会「海邦の火」集火会場となる。



1988年(昭和63年)

4月14日

カワウ(4羽)入園。(上野動物園より寄贈される)

6月4日

ベンガルヤマネコ(2頭)入園。
水族館でのホタルの増殖のための研究飼育開始。



7月1日
7月23日

キリン(♀)出産。(ななえ)
エゾリス(3番)入園。(日本エ
アーシステム札幌〜沖縄就航記
念に旭山動物園より寄贈され
る)

7月30日

アメリカバイソン(♀2)入園。
(上野動物園より寄贈される)

8月13日

ニホンザル(13頭)入園。(八重
山太平洋資源開発研究所より寄
贈される)

9月23日

動物慰霊祭開催。

10月22日

アカテタマリン(1番)入園。

10月28日

第5回移動動物園基金造成チャ
リティーゴルフ大会開催。

11月2日〜
6日

第5回移動動物園実施。(石垣
市、西表大原)



12月9日

オシドリ(5番)入園。(丸山動
物園より寄贈される)

1989年(平成元年)

1月18日
2月10日

カリフォルニアアシカ入園。
オランウータン(♀2)入園。
(上野動物園より寄贈される)

2月19日

オランウータン一般公開。



2月23日

象舎完成。(県、市補助事業)

4月7日

エリマキキツネザル入園。



5月18日

遊園施設誘致についての理事懇
談会

5月11日〜

13日

思川観光株式会社(小山遊園地)
視察。(理事及び職員)

5月29日

遊園施設誘致 理事会承認

5月18日

エリマキキツネザル(♂)入園。
(東山動物園よりブリーディン
グローン)

6月8日

錦鯉227尾池へ放流。

- 6月20日 アカテタマリン入園。
 6月25日 ベンチャーズコンサート開催。
 8月24日 曝気装置レイクリフター設置。
 (中部管工事業共同組合より寄贈される)
 8月27日 ホタル増殖施設基金造成ジンジンフェスティバル開催。
 8月28日 沖縄市議会全員協議会で遊園施設について説明
 8月30日 思川企画(株)と遊園施設設置契約を締結する。



- 11月15日～ 遊園施設工事のため既存の遊機具の撤去と営業中止。

1990年(平成2年)

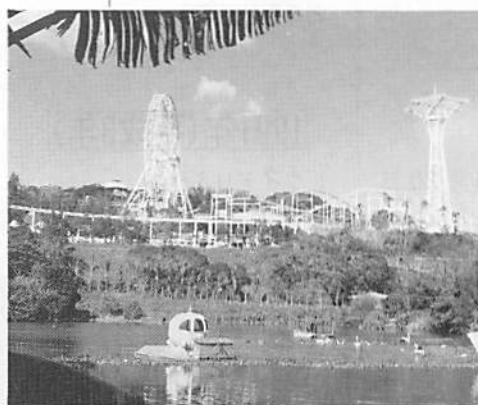
- 2月9日 第2駐車場(東駐車場)工事着工。
 2月19日～3月30日 遊園施設工事のため閉園。
 3月13日 アメリカクロクマ入園。
 3月19日 パタスザル、オセロット入園。



- 3月30日 カラカル、アビシニアコロブス、パタスザル、ジェフロイクモザル入園。



- 3月30日 遊園施設完成、沖縄アイランドパークと命名。
 4月1日 遊園施設沖縄アイランドパークオープン。



- 5月2日 アカテタマリン(2匹)出産。
 5月11日 桑江朝幸 理事長退任。
 5月12日 新川秀清 理事長就任。

8月4日 第2回ホテル増殖施設基金造成
ジンジンフェスティバル開催。



11月3日～ 第6回移動動物園実施。(久米島
6日 具志川村)

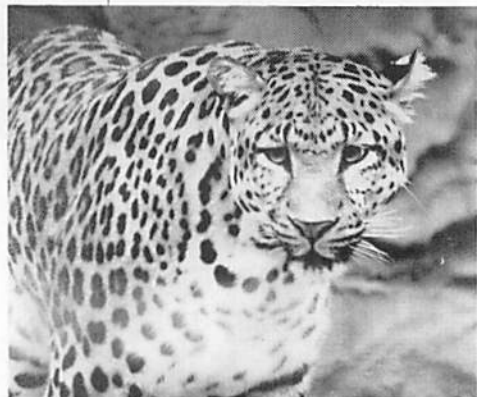
12月9日 みんなの広場芝張り作業。(天
理教奉仕団)

12月16日 野外ステージ後方広場芝張り作
業。(比謝川をそ生させる会)

12月31日 ヒツジ(1番)入園。(海の中道
との動物交換)

1991年(平成3年)

3月20日 ヒクイドリふ化。
3月25日 チュウゴクヒョウ(1番)入園。
(上野動物園より寄贈される)



4月1日 キリン(♂)出産。(リン太)
4月5日 エリマキキツネザル(♂)出
産。
6月1日 マンドリル(♂)出産。
7月7日 第3回ホテル増殖施設基金造成
ジンジンフェスティバル開催。
7月29日 カステックスタンスイエイ繁
殖賞受賞。(日動水協より)
7月31日～ 秋山豊寛「宇宙体験展」開催。
8月12日



9月22日 第3回動物慰霊祭開催。
9月23日 動物愛護フェスティバル開催
(県、こどもの国共催)
9月30日 「移動動物園in与那国」資金造成
チャリティーコンサート開催。
10月23日 沖博協総会及び研修会開催。
11月20日～ 第7回移動動物園実施。
25日 (与那国町)



1992年(平成4年)

- 1月27日 ホタル増殖施設事業資金として寄付金を受ける。
(東ライオンズクラブ創立10周年記念)
- 3月19日 ふれあい動物園完成。



- 3月31日 仲宗根喜栄 園長(事務局長)定年退職。
- 4月1日 桑江良吉 園長(事務局長)就任。
- 4月16日 オオリュウキュウガモ(6羽)繁殖賞受賞。(日動水協より)
- 4月26日 ふれあい動物園のオープン。
- 4月28日 シロガオリュウキュウガモ(4羽)繁殖賞受賞。(日動水協より)
- 5月29日 ホタル野外飼育、展示場(せせらぎ)建設事業の助成を受ける。
(河川環境管理財団より)
- 7月7日 シンリンオオカミ(2頭)入園。
(到津遊園より動物交換)



- 7月23日 ホンドギツネ(2頭)入園。(日本平動物園より寄贈される)
- 8月1日 組織の見直し及び新組織に基づく人事発令。
- 8月1日～31日 ダーウィンもびっくり動物不思議ランド展開催。



- 9月20日 第4回動物慰霊祭開催。



- 9月23日 動物愛護フェスティバル開催。
- 10月9日 国指定特別天然記念物イリオモテヤマネコ老衰のため死亡。



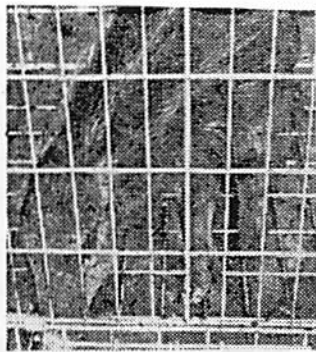
- 12月19日～1月3日 20周年記念催事 ウィンターバケーションこどもの国開催

沖縄タイムス 昭和四十七年七月二十三日

こどもの国に

善意の贈り物

動物や民芸品ぞくぞく



かなとかな
ワナにかな
での中かな
山の山かな
味の山かな
大宜味の山
りこたイ



サーのサ
るのサ
されのサ
にのサ
一ナ
コ
民
重

【コサ】復帰後、財団法人としてスタートした「沖縄・こどもの国」に、一般民衆から動物や樹木の寄贈が続いている。これが、園内の施設拡充の大きな要素となっている。最近では、

「イノシシ」「サル」「サーター」切っている。○「サル」を贈ったのは、読者の「イノシシ」が、同園の職員たち、校長、生徒数十四人。贈られたサルはメスで八歳の力ニクイサル種。二歳のころ、仲宗根校舎の一のペットであった。花子さんのお礼として、現在、同園で繁殖中のインコ、文鳥などの鳥類を贈ることにしている。○「イノシシ」は大宜味村役所の山川元康助役の贈り物。一週間まえ、自筆近づくの山林に仕掛けたイノシシワナにかけたもの。雄で重さが約十kg程度のまだこども。同園へのイノシシの贈り物はこれで四目。食欲

長が那覇の知人から「生徒たちのペット」と譲り受け育ててきたもの。名前も「花子」とつけ生徒たちの人气的になつて、いたが、大きくなるにつれて「オデバ・ザル」となり、生徒たちを傷つけるなど学校側もこのところ頭を痛めていた。「きつと、ひとりでは寂しいだろう、仲間をいれよう」といって、仲間の多いこどもの国へつれて行けば花子も少しは安らしくなるのでは……との生徒たちの思いやりが転居の動機。こどもの国では、同小学校の



ちの仲
たに仲
生に仲
とも
「女思
の思入
間

はもう盛で、種数を増やハクツ意気にはお回っている。○「サーター」は、コサ市諸見二〇六一比嘉美吉自治会長が贈り。こどもの国が民芸館コーナーとしてサーターグルマをさがしていることを知り、こどもの国に贈り教育を。○「ハブ」はコサ市諸見里六四に設立つたらばと寄贈した。このサーターグルマは古くは、三三、伊佐真儀さん（さ）から代のもので、推定三年前に沖で、自筆裏の鳥小屋にしのび込んでいるのを捕えた。長さは一尺八十。ニシキヘビがいる同個目二十百三十。大人が二、園の八史類合におさまった。

沖縄こどもの国で「夏休みサマースクール」開設

造形・動物観察など学習

【コザ】夏休みを有効に活用し、子どもたちに自然・こどもの国（玉）山麓・専務理事・兼園長・では、一日から五日までの日程で「夏休みサマースクール」を開設している。これは、こどもたちに自然の事物、事象を観察、研究させ創造性を伸ばす活動を行うことだ。造形活動を行うと、自然に親しみ動物の生態の観察を研究し、動物愛護の心を育てる。②造形活動を通して美的情緒を養い創造性を育てる。③公共施設を大切に、進んで社会に奉

仕する、などをねらっている。連日、学習に励んでいる子どもたちは、すっかりこきげん。学習は午前九時からで、コザ市内にある七つの小学校からそれぞれ六、七人ずつ招き、二班、二班のグループをつくり、二班は動物観察（二十九人）、二班は造形学習（五十人）。動物学習は同園の比嘉盛昌管理課長、造形学習は兼手納水園管理部長の指導でそれぞれ行なわれている。動物学習は第一目クジャ、七面鳥、キジ、ハト、二目目はシカ、ヤギ、三日目はサル、四日目はウシ、ウマ、五日目は反省会となっており、生徒たちに観察

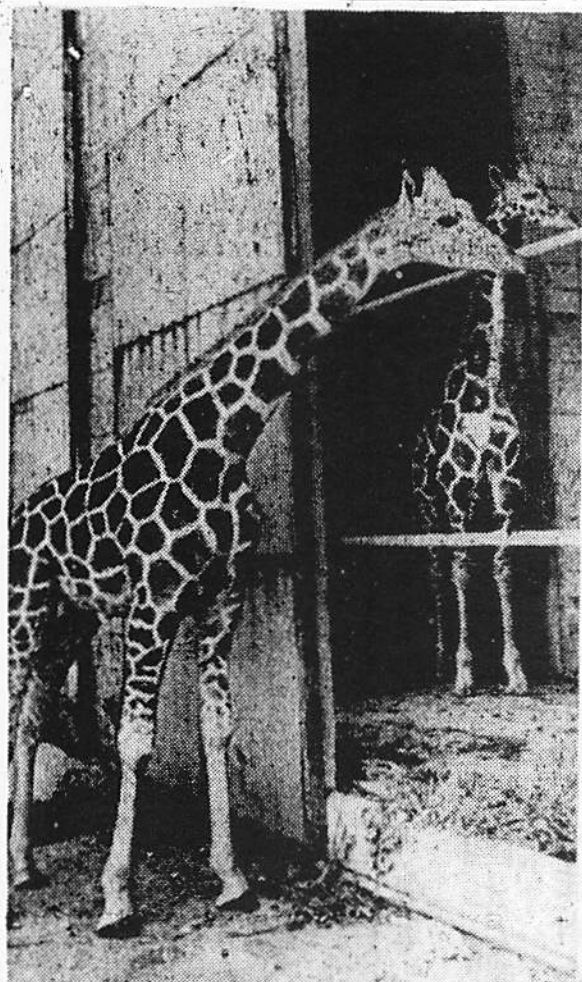
した結果をノートにして係りに提出させる。また、実際に飼料を与えたり、ウマに乗ったりで動物と接する実践活動も行なった。係りでは、生徒たちとともに動物についての学習を黒板を使って説明、そのあと動物についてどれだけの知識を果得したか、テストした。動物の原産地、特徴、品種、体重、飼料は何を与える、給餌回数、飼育舎、繁殖適齢期、寿命、産卵、ふ化、分布など全般にわたって調べたが、大半は動物についての知識が薄く、同園では機会あるごとに、こうした学習を続けて行くことにしている。

造形学習は同園の子供博物館内で行なわれている。粘土を使って動物の姿を形作っていくもので、中城中学校の玉那覇清徳教師の指導。生徒たちは思い思いにリラックした自由な姿勢でサル、鹿、鳥類、動物像など、楽しくそれに作り上げている。玉那覇教師は「まだ、小学生なので粘土のこねかたや、物体のどうえかがまだまだのようだ。例えばサルの上半身を作っている生徒は、粘土を両手で丸めてくっつけ、そのあとは指ですり平らなスベスベした見た目にきれいにしようとしている。あれはいけないことだ。まず粘土はこねたら片手でちぎりそれをどんとくっつけていく、決して指で表面を平らにはいけない。デッサンしたサル像をそのまま物体に現わそうとしているんですねー。こうした造形は全身で作り上げるものだから、絵画のように頭と指を使ったものとはちが

う。だが中には理解している生徒もおり、もっともつと造形教育を実践に移して学習する場を持ってほしい」と語っていた。同園でのサマースクールは、東京の上野動物園で数年まえから始めた児童教育が手本。これから機会あるたびにこうした学習の場を全島の生徒を対象に行なっていきたい」とはりきっている。



楽しそうに学習する児童生徒（沖縄こどもの国で）



昭和56年7月5日
琉球新報

カンベイです。よろしく

東京からキリンの花婿

沖縄こどもの国

【沖縄】はじめまして、ぼく、関係者の見守るなか無事お見合
カンベイです。沖縄こどもの
国(玉山喜楽園長の、独身キ
リン、の元へ四日後四時過
ぎ、東京・多摩動物園から、お
出、琉球海運のフェリー「だ
オス、生後一年三カ月」が到着。
百とに揺られて四日午後二時

半に那覇新港に着き、そのまま
お見合い相手の待つ沖縄こども
の国へ。カンベイと名付けられ
ているこのキリン君の到着でま
た新しくこどもの国の人気者が
増えた。
この日はまた、カンベイと一
緒に東京・上野動物園から寄贈
された小型の馬「ミゼットホー
ス」(オス、生後一年半)も仲間
入りした。ミゼットホースは現
在こどもの国でつかいで飼育さ
れているミニチュアホースとの
かけあわせで二世を作るのが目
的。ミニチュアホースのオスは
輸入元のアルセンチンから出国
する時に去勢されているため性
殖能力がない。ミゼットホース
とのかけあわせでどんな二世が
誕生するかたのしみだ。
キリンのカンベイは多摩動物
園内のアフリカ園で昨年初めに
生まれたもので人間の年齢にし
て十四、五歳。現在こどもの国
にいるメスのキリン(名前はま
だない)は昨年、大阪の「みさ

「カンベイです、よろしく」— *婿入り。したカンベイ君(左)
を平静をよそおって迎える *キリン嬢。— 沖縄こどもの国

き動物園」から贈られたもので
人間でいえば十七、八歳。頭
にいけは二、三年後には二世が
誕生することになるという。
コンテナのままキリン園内に
降ろされたカンベイ君。出口の
戸がはずされてもしばらくはキ
ョトンとしていたが、やがてゆ
っくり園内を歩き回った。一方
姉さん女房になる、キリン嬢
は周囲のたのしみようすにそ
わそわ、チラッとカンベイ君を
窺み見たりしてうれしさを隠し
きれないようだった。



動物園が海を越え、離島に渡った。十七日から二十一日までの五日間、伊平屋、伊屋名、屋名、離島振興総合センターで開催された沖縄こどもの国(玉山園長)の第二期移動動物園は、子供からお年寄りまで多数の市民が好評のうちに幕を閉じた。なかなか動物園に行かれない離島・へき地の子供たちに動物を見せあげよう、園側がさまざまな条件を乗り越えてあえて踏み切った移動動物園。こうした動物園は全国でも例のないケースで、動物園関係者からも注目されている。離島振興ではユニークな動物園といえるが、両村から「今後も定期的に続けてほしい」と期待されているほか、他の離島からも要望が出ている。

与えたいと四年前から計画。「動物園は子供たちが遊びながら学べる施設であり、生きた自然教育の場だ。都市部の子供たちはかりでなく金銭的に恵まれ、早くから動物園に行き、動物園が託された移動動物園だ。だが、いざ実現させるためにはさまざまな困難にぶつかった。まず資金づくりだ。沖縄市や県の補助金で運営をまわし、市町村には動物園を移設させる多額の資金はなかった。そこで始めは園主権によるチャリティゴルフ。昨年三月初

子供たちに動物を見せようという園の意気込みはすばらしい」とほめた。たまたま、ライオン海を渡る一年後開催されたのが今回の伊平屋、伊屋名、離島に渡るとあって、園の職員七人は前回以上に万全な準備を整えた。移動はスタッフばかりではなく動物

期間が長ければ長いほど動物たちは疲れをみせた。園の獣医・安里義典管理課長は「人間以上に動物たちはデリケートだが、子供たちに喜んでもらうために動物も我慢してもらった」と少々痛手は覚悟したようだ。両村の移動動物園に対する反響は大きく、ちびっ子はもちろんお年寄りまで珍獣を楽しんだ。伊平屋村の池田松本村長は「村のほと

た。同協会に加盟する七十六の動物園でこうしたユニークな動物園は初めてであり、関係者の関心も呼んだ。「生涯の研究を中心とする多くの動物園にとっては全く考えられないことだし」と玉山園長は語る。動物の負担度から一年一回のペースで移動動物園を実施する計画だが、すでに久

米島や宮古・八重山などからも話が持ち上がっている。玉山園長は「動物園持たという声もあるが、子供たちに動物を愛する心を育てるために、この移動動物園はわれわれにとって使命だと考えている」と強調している。(北都支社・銘田達夫記者)

こどもの国を絶賛 全国でもまれなケース

○伊平屋と伊屋名で
この移動動物園は玉山園長が、動物園から遠く離れた離島へき地の子供たちのために、動物を見る機会を

実現にこじつけた。第一回の移動動物園は昨年三月中旬、東村で行われた。村政六十周年を記念し、子供たちに動物を見せあげようという園の意気込みはすばらしい」とほめた。たまたま、ライオン海を渡る一年後開催されたのが今回の伊平屋、伊屋名、離島に渡るとあって、園の職員七人は前回以上に万全な準備を整えた。移動はスタッフばかりではなく動物

たに与える負担が大きい。哺乳類、鳥類、爬虫類など約六十匹は安住の地であった動物園から、おりに入れられたままクレインで吊り上げて移動するため、ストレスは予想以上に大きい。おりに顔をぶつけて傷ついたライオン、指のつめがはがれたカンガルー、えさを食べず元気をなくす黒ヒョウなど。開催

大喜びのちびっ子
この移動動物園について玉山園長は昨年十二月、高松市で開かれた全国動物園水族館協会の会合で発表し

全国でも珍しい沖縄こどもの国の移動動物園(伊平屋村、離島振興総合センターで)

好評だった移動動物園

好評だった移動動物園

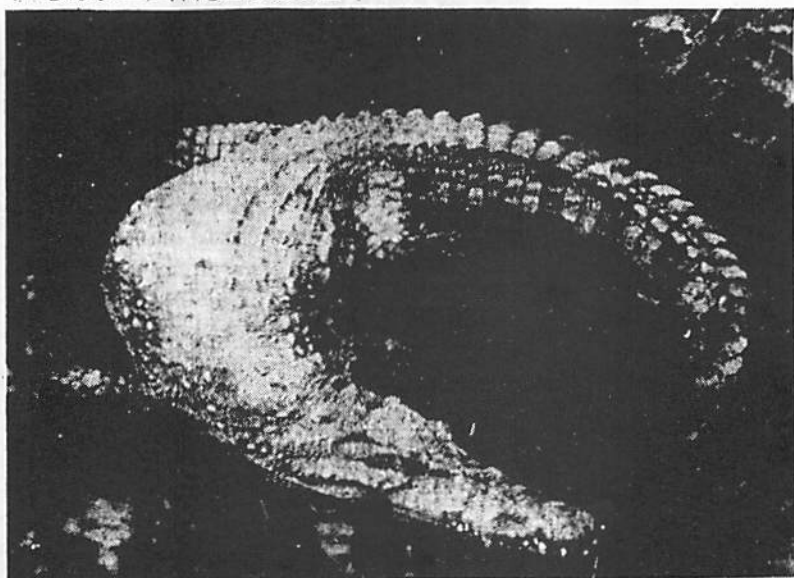
好評だった移動動物園

好評だった移動動物園



全国でも珍しい沖縄こどもの国の移動動物園(伊平屋村、離島振興総合センターで)

自分の体を巻いてプールを作り、その中で子ワニ(右より)を保護する母ワニ＝沖縄こどもの国



シャムワニの自然ふ化に成功

国内で初めて

沖縄こどもの国

プール作り子を守る親

【沖縄】沖縄こどもの国(桑江朝幸理事長)でシャムワニの赤ちゃんがこのほど国内で初めて自然ふ化で誕生。母ワニが自分の体を輪にして小さなプールを作り、子ワニを保護する様子など、これまで国内では全く見ることができなかったシャムワニの生態の一部が明らかになった。

は虫類館の大谷館長が集作り、産卵、ふ化、その後親ワニ、子ワニの様子を観察している。大谷館長によると、シャムワニの赤ちゃんが生れたのは去る九月十九日午前七時から八時の間。六月二十七日の産卵から八十四日目の誕生で、全長二十二・二十四センチ、

十四個の卵のうち一個だけふ化に成功した。子ワニはお母さんワニとお父さんワニに守られながら陸に上がった水に入ったり。時折、かわいいうでクックックと鳴く。

生後六日目の二十四日は初めてえさのグッピーを食べるなど、順調な成育ぶりをみせている。

シャムワニはこれまで国内で自然ふ化の例はなく、親ワニが子ワニを守る方法についての観察例も全くなかった。今回の自然ふ化の成功は、子ワニを守る親ワニの様子を観察する初めての機会ともなり、メスが自分の体を輪にしてプールをつくる②池の角を仕切ってプールをつくる③深場に行こうとする子ワニを口で押して浅場に移動させる④オスが子ワニを口の中に入れる⑤の四つの様子を確認することができた。

大谷館長はこれまでも国内唯一、亜熱帯圏の気候条件を生かしてメガネカイメン、バラアイカイメン、アメリカアリゲーターの自然ふ化に成功。今回のシャムワニで四種のワニが沖縄で自然ふ化できることを立証したことになる。

大谷館長は「自然ふ化の成功は沖縄でワニの繁殖が可能であることを意味する。ワシントン条約でワニ皮の輸入が規制されているが、ワニは皮だけでなくすべて利用できるし、繁殖事業としても大いに期待できると思う。申し出があれば全面的に協力したい」とも話している。

シャムワニの自然ふ化の模様は、NHKの「タモリのウォッチング」で放映される予定。

平成元年6月9日
沖縄タイムス

ヘイケボタル 増殖に成功

沖縄こどもの国

蛍舞う街へ夢一步

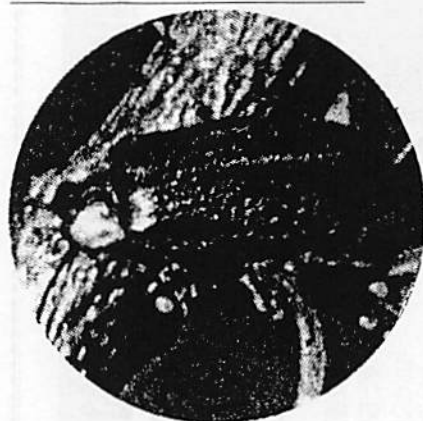
【沖縄】「ボタルの舞う街づくりを」と、県内には生息しないヘイケボタルを沖縄市の沖縄こどもの国（理事長・桑江朝幸沖縄市長）が一年がかりで飼育を続け、増殖に成功した。と八日午後発表した。ヘイケボタルは県内のボタルの五倍以上の光を放つと言う。こんどの実験は同園の水族館内で行われたが、来年は沖縄の自然の気温で増殖を試みることにしており、将来はボタルの飛びかう街を、と関係者の夢は広がるばかりだ。

昨年六月に沖縄市水道事の計百十四匹を贈ってきた養友さんと係員の嘉陽宗昭さん。ボタルの寿命は一年。成虫はメスが体長二〇センチ、オスは八センチ。水族館内の実験作業場に移されたヘイケボタルはすぐ卵を産み、同年七月四日には二千匹の幼虫としてふ化した。

虫は七月から十一月までに脱皮を繰り返す。飼育の最大の難関は冬場の気温。一五度以下の気温で冬を越さなければボタルは羽化しないという。比嘉さんは冷蔵庫内で水温八度



ヘイケボタルの増殖に成功した沖縄こどもの国の実験作業場



ヘイケボタル＝図鑑から

大阪から貴重な贈り物 来年は自然繁殖試みる

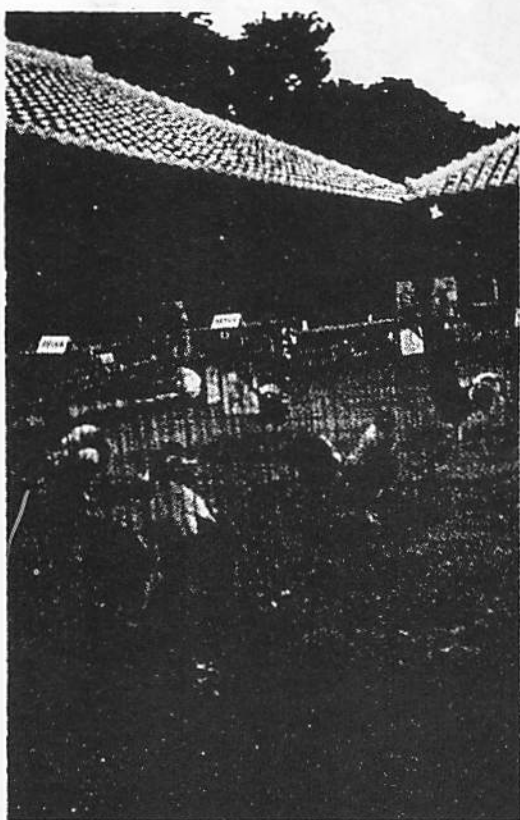
幼虫は水槽のなかでヒメタニシやカワニナのスライスをエサにした。きれいな水を求める幼虫に「毎日水を入れかえるのが大変でした」と言う。三ッほどの幼

度の環境づくりをした。手がかりを得ることができた。ボタルが住める自然環境をもう一度みんなで考えていきたいと語っている。四、メス百二十九匹の合計二百六十六匹がいっせいに

チャーン的美声競う

沖縄市

コケコッ 光好会長)の鶏鳴大会で、約五十羽のチャーンが
コ。沖縄 真一がこのほど、沖縄で美声を競いあった。最優秀
地鶏チャーン保存会(長堂 もの国ふるさと園で開か には喜友名朝金さん(北谷



最優秀に
喜友名 さん

鶏鳴大会

よに来た男の子はチャーン
が鳴くたびに「コケコッコ
ー夜が明けた」とはしゃい
で、家庭からいなくなった
鶏の鳴き声に合わせてい

当山清幸(那覇市)

町)が選ばれた。
大会には中部を中心とし
たファンや外人にも珍しい
チャーンの鳴き声に興味を
示していた。父親といっし

た。
チャーンは、羽毛が黒色、
背胸は白色が多く短足。体
重は雄一・五キ、雌一キ位。
沖縄の地鶏で、昔からの
鳴き声を愛しむため、首里
那覇で多く飼われていた。

戦後は中部に愛好家が集
中している。約五百羽が飼
育されているという。原産
は中国、東南アジアともい
われ、いつごろ沖縄に導入
されたかは不明。関係者の
間では保護指定の動きもあ
る。

優秀者は次の通り。

名護克好(具志川市)▽辺
野喜三郎(北中城村)▽比
嘉定長(宜野湾市)▽宜寿
次政文(具志川市)▽比嘉
昌信(浦添市)▽森根直三
(具志川市)▽石川正雄(石

川市)▽横田政吉(具志川

市)▽呉屋真一(宜野湾市)

▽横田政徳(具志川市)▽

当山清幸(那覇市)

沖縄こどもの国

ふれあい動物園開園

馬、羊、アヒルなど11種類



動物に直接触れ楽しむ沖縄盲学校の生徒たち

【沖縄】あったかくて動物の生徒と付添人約百二十人「沖縄こどもの国」を無料招待した。三歳の幼稚園(桑江良吉園長)は二十七日、園内にふれあい動物園をオープン、開園記念に動物に歓声が上がった。桑江園長、嘉陽栄憲副理

生徒たちは、ミニチュアホース、羊、アヒルや蛇など十一種類の動物を最初はこわごわ、それでも次第に慣れてくると大胆に、手触りや息遣い、鳴き声を楽しんでいた。

アオダイショウを首に巻きつけてもらった野原千洋君(小学部三年)と田里友邦君(同)は「面白かった。馬に触ったのは初めてで、かわいかった」と声を弾ませていた。

こどもの国の又吉賢光主幹は「子供たちは動物に触れるのが大好き。サマースクールなどでも活用してほしい」と話していた。



ふれあい動物園全景

きょうからケイ太

上

比嘉源和沖繩こどもの国飼育課長

沖繩こどもの国の人気者で国の特別天然記念物・イリオモテヤマネコのケイ太が十月九日、老衰のため死にました。十三年にわたってさまざまな生態学的貢献を果たしたケイ太を見送ってきた、直接の飼育担当者やかわりの探かった鳥獣保護員の二人から、その死をいたむ思いが寄せられており、二週に分けて紹介します。初回は、生後約一カ月の幼獣のころから死するまで担当した飼育士の比嘉源和さんです。

昭和五十四年六月十六日、ケイ太が初めてヒヨコに育ち、自力で排便したときでした。園にきて十一日、目と口で、医、大宜味さす飼育士と三人の二十四時間態勢でケイ太の看病をずっと続けました。今年に入ってから何度か危ない状態がありましたが、最後九月に倒れたときは体力が格段と落ちていました。そして死ぬ二、三日前からえさを全く食べなくなりました。十月九日午後五時四十分、抱っこをして記念撮影を終えてみると、静かに眠るように死んでいました。

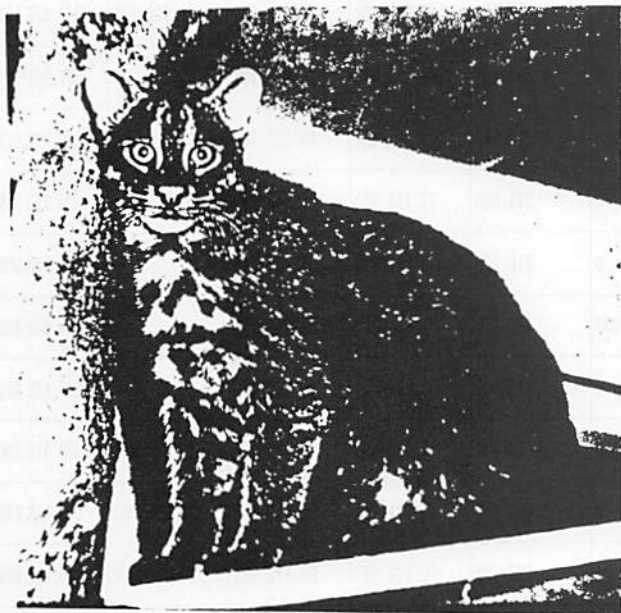
ケイ太は二日前、西表島奥原の原野で大雨に打たれずぬれになって、時に「これか」ところを保護されました。それから鳥獣保護員「かな」と不安自然保護員「なから」に思ったことどもに保護依頼があを覚えていました。飼育することになったのです。

その不安が、こどもの国に到着したケイ太は、長距離移動のれ「育てられ疲れと空腹のためか、高るぞ」と確信足に歩けずはって歩く状態になった。その夜は泊まり、翌朝生後五り込みで、とにかくケイ太過酷と推定さ

ヒヨコ、鶏が一番の好物 10歳で老齢、昨年危篤に

やコイなどいろいろ試しましたが、ヒヨコや鶏が一番の好物だったようです。保護されたとき四百三十ポンドだった体重も八カ月後には四、五歳大時には、太りすぎたと思える六ポンドまで大きくなりました。十歳ごろから老齢に差し掛かり、昨年十二月に急性腎不全で危篤になったので、その時に点検のため初めて注射針をケイ太に刺しました。その時に治療をしないければ、恐らくそのまま死んでいたでしょう。それから、金城雄雄獣医、大宜味さす飼育士と三人の二十四時間態勢でケイ太の看病をずっと続けました。今年に入ってから何度か危ない状態がありましたが、最後九月に倒れたときは体力が格段と落ちていました。そして死ぬ二、三日前からえさを全く食べなくなりました。十月九日午後五時四十分、抱っこをして記念撮影を終えてみると、静かに眠るように死んでいました。

1981年(昭和56年) 3歳の頃



点検のためケイ太を抱く比嘉源和飼育士



10 資 料

(1) 収入項目

年度別収入明細

項目 年度	入 園 料	補 助 金			寄 付 金	事業収入	飲 物 テナント料 そ の 他	借 入 金	合 計
		県補助金	市補助金	その他補助金					
		21,600,000	71,617,320	58,645,440	81,844,920	0	0	0	233,707,680
47	25,740,301	12,500,000	9,273,000	34,670,829	3,079,030	0	1,034,620	0	86,297,780
48	15,619,370	15,710,000	37,200,000	23,067,700	1,539,500	7,055,762	1,838,274	0	102,030,606
49	26,502,510	28,710,000	40,000,000	17,200,000	676,154	10,697,530	3,555,097	0	127,341,291
50	32,231,450	21,943,000	35,000,000	56,380,000	2,777,269	4,721,300	6,068,266	25,000,000	184,121,285
51	61,416,230	44,940,000	30,000,000	55,260,000	1,216,696	18,369,237	8,551,378	34,000,000	253,753,541
52	86,799,220	25,000,000	30,000,000	51,860,000	8,827,540	25,260,302	14,968,418	33,000,000	275,715,480
53	76,630,550	25,000,000	48,000,000	41,200,000	77,695	24,754,050	10,861,414	0	226,523,709
54	82,570,570	41,000,000	35,500,000	10,000,000	1,310,500	25,602,058	11,745,453	45,000,000	252,728,581
55	85,959,110	30,000,000	57,000,000	87,920,000	2,352,917	41,505,301	16,505,440	10,000,000	331,242,768
56	85,156,005	44,037,000	38,000,000	0	1,100,705	42,944,183	16,427,384	12,000,000	239,665,277
57	86,158,554	44,975,000	34,660,000	40,000,000	1,687,519	42,005,104	19,070,990	1,800,000	270,357,167
58	83,895,830	45,000,000	41,660,000	0	2,802,401	42,009,609	18,658,723		234,026,563
59	90,052,240	44,000,000	40,660,000	40,000,000	2,289,012	43,681,057	19,560,708		280,243,017
60	85,215,640	40,598,000	41,660,000	0	571,063	37,123,953	25,048,733		230,217,389
61	96,720,980	40,598,000	40,660,000	0	215,000	39,261,275	28,287,314		245,742,569
62	105,419,350	40,000,000	50,160,000	28,000,000	425,800	31,660,500	39,781,159		295,446,809
63	109,136,500	39,260,000	55,660,000	0	215,930	32,214,070	36,986,473		273,472,973
元	96,824,870	37,872,000	66,590,000	79,000,000	3,044,000	25,495,000	25,249,396	45,000,000	379,075,266
2	234,379,390	36,370,000	40,840,000	0	2,460,757	66,511,747	54,550,401	70,000,000	505,112,295
3	174,274,800	34,505,000	55,840,000	0	427,190	66,814,885	54,722,021	0	386,583,896
合計	1,740,703,470	713,618,000	899,980,320	623,203,969	118,941,598	627,686,923	413,471,662	275,800,000	5,413,405,942

(2) 支出項目

年度別支出明細

項目 年度	事業費	人件費	動物購入費	水道光熱費	動物飼料費	償還金 及支払利息	その他 維持経費	合計
42～ 46	233,707,680							233,707,680
47	15,606,494	20,369,937	217,274	1,046,929	1,838,188	0	9,134,945	48,213,767
48	46,034,779	39,460,865	2,023,800	1,554,062	5,065,620	0	13,287,970	107,427,096
49	53,175,186	56,100,703	416,850	1,558,296	4,643,395	0	18,349,319	134,243,749
50	108,002,308	61,704,632	3,414,000	3,263,105	3,307,545	1,620,000	23,720,898	205,032,488
51	177,655,523	67,490,173	2,471,065	5,285,048	4,529,100	19,443,779	34,585,715	311,460,403
52	62,622,922	75,974,237	10,322,545	10,293,560	6,059,188	24,699,631	34,763,548	224,735,631
53	78,003,968	91,387,354	4,214,200	10,902,301	7,232,995	18,121,558	31,387,493	241,249,869
54	30,125,484	99,949,408	2,570,340	10,352,495	5,778,940	48,005,946	32,782,216	229,564,829
55	72,567,298	103,222,452	6,880,250	14,600,973	8,774,628	9,011,488	37,653,913	252,711,002
56	117,543,060	113,342,358	9,647,068	7,421,600	16,395,667	12,902,380	50,100,621	327,352,754
57	56,395,000	121,814,382	10,837,480	4,727,555	21,449,222	15,721,291	45,264,001	276,208,931
58	21,590,000	121,268,714	9,850,188	6,660,890	22,366,774	9,917,305	35,101,869	226,755,740
59	62,166,280	130,204,322	9,119,100	5,599,520	17,027,178	6,583,977	43,751,568	274,451,945
60	15,400,000	131,242,592	9,161,796	3,481,400	19,523,147	6,161,494	45,855,556	230,825,985
61	14,000,000	135,218,210	9,712,810	5,414,479	17,944,570	4,865,755	56,570,147	243,725,971
62	57,859,178	149,302,585	10,429,599	4,352,208	18,772,322	3,638,446	51,339,123	295,693,461
63	35,540,000	145,838,274	12,093,801	5,021,050	18,714,598	3,464,772	51,373,806	272,046,301
元	136,150,000	146,491,000	13,777,271	4,845,900	16,818,797	4,052,183	57,584,224	379,719,375
2	104,964,580	187,833,000	16,309,198	4,738,850	15,082,684	14,181,500	157,042,142	500,151,954
3	35,600,000	193,641,869	18,147,545	5,130,130	13,599,818	12,446,112	120,059,596	398,625,070
合計	1,534,709,740	2,191,857,067	161,616,180	116,250,351	244,924,376	214,837,617	949,708,670	5,413,904,001

(3) 開園時間及び入園料等

① 開園時間

イ、平日営業

4月～9月 午前9:00～午後4:30

10月～3月 午前9:00～午後4:00

ロ、夜間営業

4月～9月 午後4:30～午後7:00

10月～3月 午後4:00～午後6:30

(注) 夜間営業は土曜日、日曜日、祭日及び

学校の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に実施。

② 休園日

毎週火曜日(火曜日が祝祭日の時は翌日に繰り下げます。)

③ 入園料

イ、一般

大人 700円

中人(中高校生) 300円

小人(4才～小学生) 200円

ロ、団体

種別 \ 人数	20人以上 999人以下	1,000人以上 1,999人以下	2,000人以上 2,999人以下	3,000人以上
大人	600円	550円	500円	450円
中、高校生	250円	230円	200円	170円
小学生～4才	150円	140円	120円	100円

④ 入園料金改定の推移

種別	年月日	47年 5/15	48年 4/1	49年 4/1	50年 4/1	51年 4/1	52年 4/1	62年 5/1	元年 6/1
一般	大人	100円	150円	200円	300円	400円	500円	700円	
	中・高校生	70円			120円	150円	250円		300円
	小学生	50円			80円	100円	150円		200円
	幼児	30円			50円		100円		

(4) 遊戯施設利用料

No	施 設 名	利 用 料	No	施 設 名	利 用 料
1	スペースシャトル	200円	13	ミニレーサー	100円
2	周遊列車	200	14	メリーゴーランド	400
3	スーパートレイン	500	15	フライングカーペット	400
4	ワンダーホイル	500	16	ゲームセンター	
5	ロックンロール	300	17	ミラーハウス	300
6	ローラーコースター	500	18	ローター	400
7	ペガサス	300	19	ファンハウス	400
8	スカイパラシュート	500	20	ファイヤースィンガー	400
9	タイフーン	300	21	サイクルライダー	300
10	エンタープライズ	400	22	安全ボート	1,000
11	コーヒークップ	300	23	フライングスィンガー	300 1,000
12	アモーレエクスプレス	400	24		

①団体割引（20名以上）

施 設 名	福祉・養護施設	保育園・幼稚園	小 学 校
ワンダーホイル（観覧車）	200円	200円	300円
スーパートレイン	200円	200円	300円
メリーゴーランド	200円	200円	300円

注) 1.引率者（教師）・介護者・3才児以下の園児は無料（但し保護者同伴）

2.父母は対象外

3.乗り物券は領収書で処理

②特別規定

施 設 名	規 定 条 項
ローラーコースター	身長120センチメートル以上
ロックンロール	身長110センチメートル以上
ローター	身長120センチメートル以上

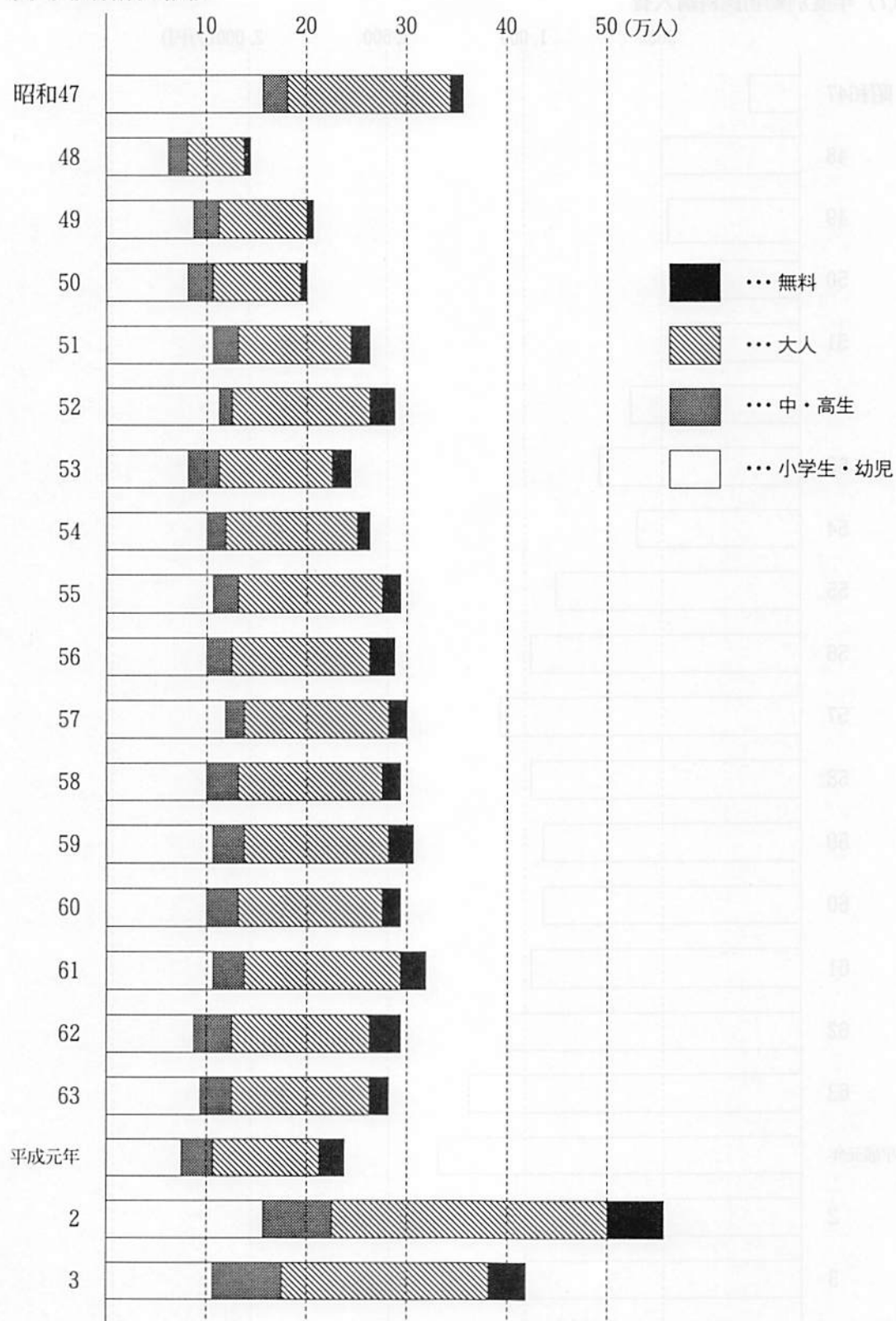
注) 妊産婦、酒気帯者、幼児のみのご利用は御遠慮下さい。

(5) 年度別入園者数（有料・無料）

種別 年度	大 人	中高校生	小 学 生	幼 児	有料合計	無 料	総 合 計
S47	169,396	26,694	96,623	65,213	357,926	2,826	360,752
48	72,749	14,202	43,701	26,095	156,747	982	157,729
49	91,923	17,000	56,255	37,678	202,856	262	203,118
50	92,920	14,159	53,971	35,237	196,287	5,199	201,486
51	127,094	14,954	62,084	44,019	248,151	13,557	261,708
52	143,418	14,400	61,989	46,128	265,935	15,986	281,921
53	127,370	12,616	53,383	39,765	233,134	14,149	247,283
54	137,938	12,886	57,965	44,258	253,047	12,359	265,406
55	141,135	17,790	64,297	46,433	269,655	27,558	297,213
56	140,613	21,253	57,737	41,978	261,581	32,573	294,154
57	141,517	21,076	66,011	44,797	273,401	25,298	298,699
58	135,119	27,253	58,502	42,550	263,424	22,611	286,035
59	145,992	29,195	61,926	42,280	279,393	29,636	309,029
60	136,566	30,283	57,408	42,495	266,752	24,190	290,942
61	154,902	37,625	59,589	43,142	295,258	25,847	321,105
62	129,883	35,341	52,197	39,383	256,804	29,473	286,277
63	131,691	30,553	51,357	44,526	258,127	21,348	279,475
平成 元年	113,360	26,738	75,428		215,526	25,134	240,660
2	268,977	80,569	147,328		496,874	56,710	553,584
3	201,386	64,271	110,716		376,373	43,790	420,163
4	146,579	47,727	80,662		274,968	30,635	305,603
合計	2,950,528	596,585	1,429,129	725,977	5,702,219	460,123	6,162,342

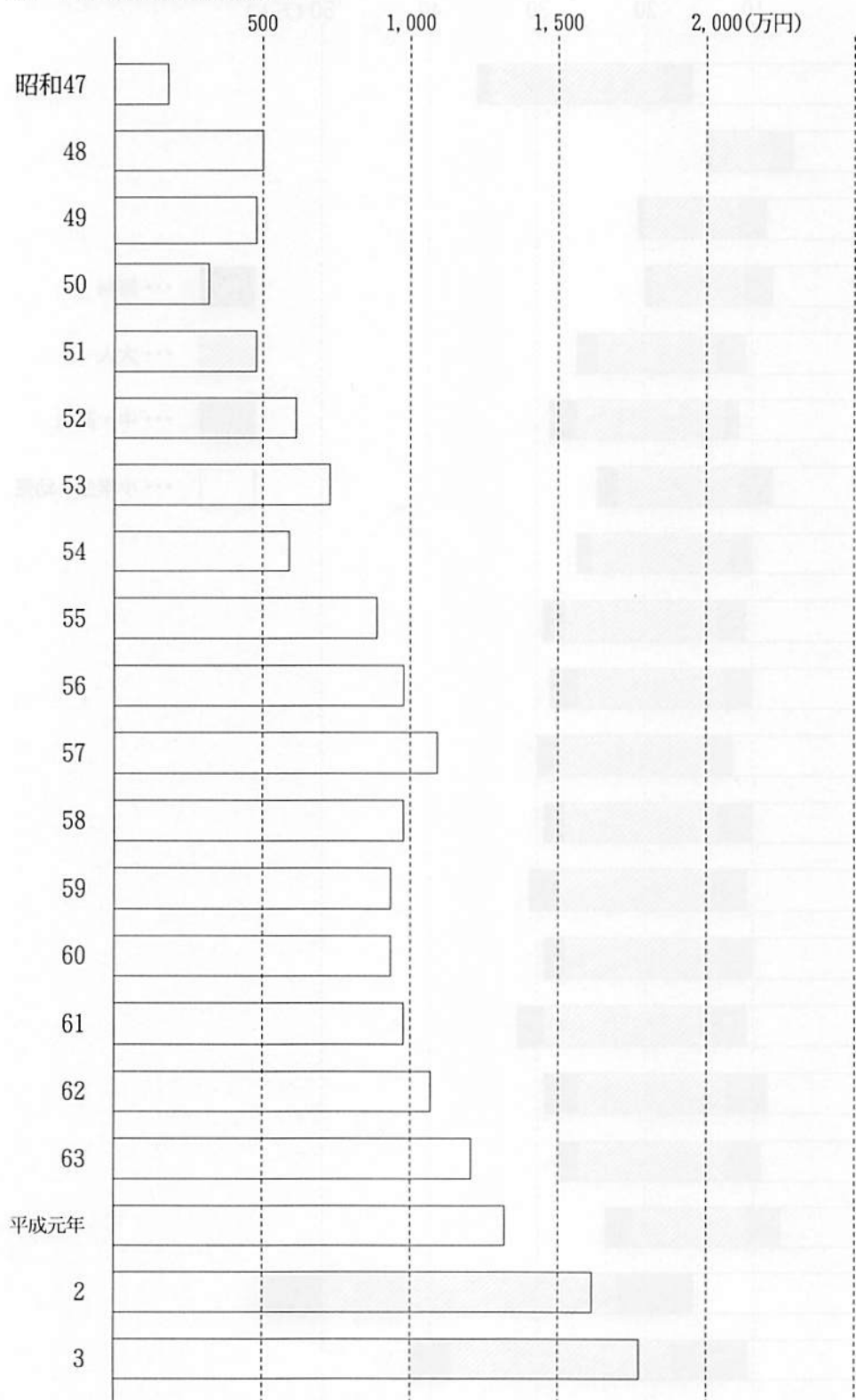
※平成4年度は、11月末現在の入園者数です。

(6) 入園者数の推移



*平成4年8月現在入園者累計約600万人

(7) 年度別動物飼料購入費

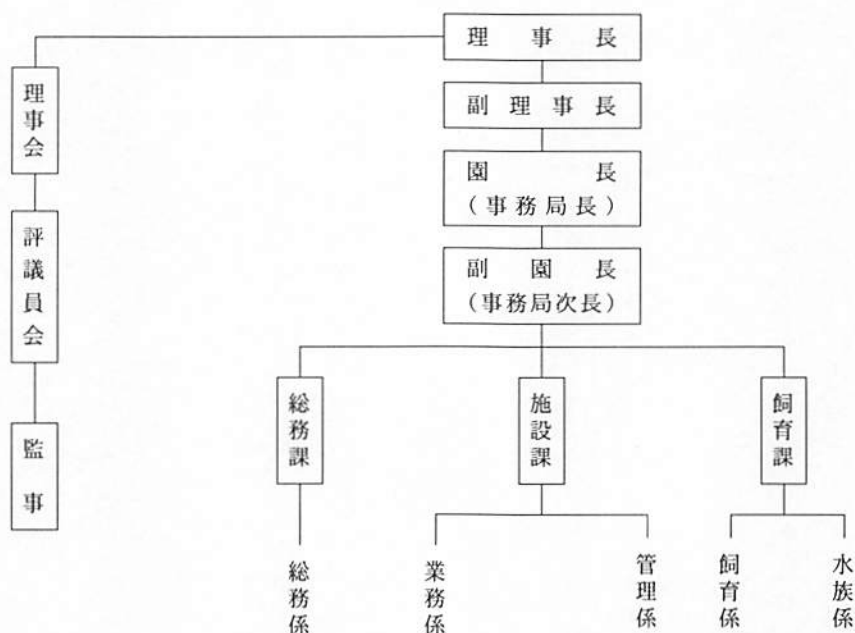


※ S62年まで 青草飼料は毎日1.5人で草を刈る。 S63年以降は個人へ委託
但し、冬場は週2日 2人で草を刈る。

(8) 歴代理事長・園長

理 事 長		園 長	
氏 名	就 任 期 間	氏 名	就 任 期 間
大 山 朝 常	1972. 4～1974. 4	玉 山 憲 栄	1972. 6～1987. 6
町 田 宗 徳	1974. 5～1978. 4	仲宗根 喜 栄	1987. 7～1992. 3
桑 江 朝 幸	1978. 5～1990. 4		

(9) 組織及び業務分掌



①職員配置表

職 名	園 長 (事務局長)	副園長 (事務局次長)	課 長	主 幹	係 長	主 査 技 査	係	獣 医	臨 時	業 務 委 託	計
管 理 職	1	1	2 (1)	1							5
総 務 係					1	1	1		6		9
業 務 係					1		1				2
管 理 係					1	1	2		7		11
飼 育 係 (動 物)					1	2	2	1	7		13
飼 育 係 (水 族)					1	1	2				4
爬虫類係										3	3
計	1	1	2 (1)	1	5	5	8	1	20	3	47



1992年（平成4年）12月発行

亜熱帯の太陽と水と緑の楽園



財団
法人

沖縄こどもの国
OKINAWA ZOO

TEL 098 - 933 - 4190

FAX 098 - 932 - 1634